

えぐね

「えぐね」は、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林です。快適な住環境を形づくり、日本の原風景を代表する景観を生み出しています。本校が胆沢の地や人々にとってなくてはならない「えぐね」のような存在であり続けたいと願い、校報の名前にしています。

良さを広げる学校をめざして

年度当初の3年生のリーダーを中心とした生徒会活動も始まりました。

活動の中で、私から見てしっかりできていると思うことを紹介します。特にはっきりとわかったのが生徒会入会式・部活動紹介の場面でした。「話をする人の方向に身体ごと向きを変えて聞いていたこと」、「発表者に注目してタイミングよく礼や拍手ができていたこと」、「全体としてメリハリがありながら、整然とした雰囲気を保っていたこと」などです。

どこにいても、誰かに言われなくても、自分ができるようになっているのはそのことが身につけているからです。隣の人がそうしているのを見て、その場でまねできる人も意識が高いと言えます。



よい行動が広まると、学級や学年、学校全体の雰囲気がもっとよくなっていきます。生徒会活動で示してくれたよいから出発して、よいことが広がりこと続ける学校でありたいものだと思っています。(全校朝会の話から)



表彰 おめでとうございます

- ・第33回読書感想画中央コンクール 中学校の部 奨励賞 村上佑夏
- ・明るい選挙啓発ポスターコンクール 入賞 八島陽菜
- ・ウィナー杯東北中学校選抜ソフトテニス大会チャンピオントーナメント 女子団体3位
- ・令和4年度岩手県下中学校ソフトテニス一関大会女子の部 2位 菅原望夢・渡邊侑莉
3位 八島陽菜・氏家華鈴

盛岡市内一周継走大会

4月17日に、毎年の陸上シーズンの到来を告げる盛岡市内一周継走大会が開催され、胆沢中生の快走がありました。春休みからの練習の成果を発揮して、男子10位、女子37位という結果でした。今回の経験を、今後の取組につなげてほしいと思います。登録選手は次のみなさんです。

男子：佐藤悠翔、菅原蒼太、菅原大翔、菅原来輝、高橋陽、千葉心人、千葉廉仁。

女子：石川凜、岩渕愛理、岩渕ノリカ、小野寺葵、鈴木優奈、星実怜。

仮入部での体験を大切に

部活動の見学、仮入部を経て月末の正式入部を迎えます。1年生のみなさんは、それぞれお家の方との相談も踏まえて、中学校で続けて活動する部活動をしっかり選んで決めてほしいと思います。

本校では、生徒指導の基本として、「自己決定」「自己存在感」「共感的人間関係」を大切にしています。部活動では入部後、技術向上をめざす中で、教室では学べない事柄もたくさん経験できます。成長につながる機会ととらえ、積極的に取り組んでほしいと願っています。

PTA総会の書面開催について(お願い)

新型コロナウイルス感染症の近隣での拡大状況を踏まえ、PTA役員の皆様からご意見を頂き、22日に予定していた授業参観を行わないこと、PTA総会は紙面開催とすることとしました。

各ご家庭にはPTA総会資料と学校からの資料を来週お届けします。ご意見等ありましら、お知らせくださるようお願いいたします。

また、学校からの資料として、まなびフェスト、いじめ防止基本方針、部活動指導方針を掲載しました。今年度もこれらの方針に基づいた教育活動を進めてまいります。ご一読をお願いいたします。

今年度から学校運営協議会制度の開始準備に入ります。こちらについても資料を掲載しましたので、あわせてご意見等あればお知らせくださるようお願いいたします。